
第四回学際物質戦略イニシアチブ バイオグループシンポジウム 新しい創薬・治療

10:00-10:20 ご挨拶 長崎幸夫

10:20-10:50 プリン受容体をターゲットとした創薬の可能性
東京理科大学薬 月本光俊

10:50-11:20 ビジュアルキネティクスによる体内物流解析と個別化医療
金沢大学薬 玉井郁巳

11:20-11:50 生体内金属イオンと光を利用する新しい薬剤の設計・合成と創薬支援
東京理科大学薬 青木 伸

13:20-13:50 天然物薬剤の微生物合成
東京理科大学薬 早川洋一

13:50-14:20 蛍光を用いたマウスin vivoイメージング
筑波大医 三輪 佳宏

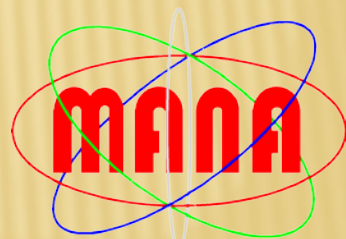
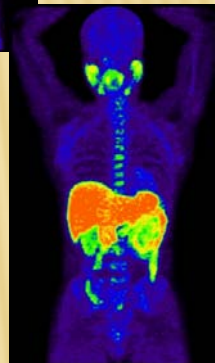
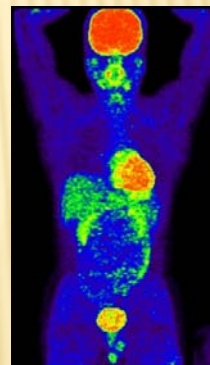
14:20-14:50 抗酸化ストレス剤の開発について
東京理科大学薬 稲見圭子、望月正隆

14:50-15:20 -休憩-

15:20-15:50 ビジュアルキネティクスによるターゲティングコンファーマティブ個別化医療
金沢大学保健 川井恵一

15:50-16:20 抗体を用いたがんのイメージングと治療
東京理科大学薬 増保安彦

16:20-16:50 ラジカル封入ナノ粒子による脳梗塞抑制効果と抗酸化作用メカニズムの検討
筑波大物質 長崎幸夫



2009年5月8日(金)

筑波大学東京キャンパス(秋葉原地区)講義室1
〒101-0021 千代田区外神田1丁目18-13
秋葉原ダイビル14階

主催 筑波大学学際物質戦略イニシアチブ
共催 国際ナノアーキテクトニクス研究センター
共催 文部科学省振学術領域研究「ソフト界面」

